

北区で子どもの遊ぶ場をつくる会

【ミッション】

子どもは、みずから育つ芽のようなもの。



子どもたちが生まれもった力を引きだす環境を、 広げたい、増やしたい。

みなさんの周りの子どもたちは、のびのびと自分らしく育っていますか？
自分を好きという感覚や、自分ではできるという自信、持っていますか？

大きく頷いて「はい」と答えられる方は、残念ながら少ないのではないのでしょうか。

なぜ、このような状態になっているのか……私たちは、子どもたちの育つ環境の厳しさに目を向けました。
子どもたちが育つ環境が、厳しくなっているのです。

- ・ 知識を身に着けることが優先されて、実体験が不足しがちであること。
- ・ 地域の交流が少なくなり、学年単位での遊びに留まっていること。
- ・ 子どもの遊ぶ場は、学校の敷地内か家に限定されつつあること。
- ・ スマホやゲームなど、子どもを惹きつける商品が身近にあふれていること。
- ・ 大人がケガを恐れるあまり挑戦自体ができないこと。

これらの環境の中で育つ子どもたちは、やりたいことができません。子ども達にとって、やりたいことができないということは、そこから生み出されるはずのエネルギー、知恵、集中力、想像力、コミュニケーション力、自己効力感が得られないことにつながります。何かしら窮屈さを感じてイライラしていたり、自信がない、やる気がない子どもたちの増加は、子どもの育つ環境の質が大きく関わっているのです。

そこで、私たちは、子どもの育つ環境を変えていきたいと願って行動をはじめました。

子どもたちは、みずから育つ芽のようなもの。

環境を変えていくことで、子ども達が生まれもった力を引き出したいと考えています。

「自分で好きなようにできる時間を持つということは、

子どもが育つうえで重要であるし、自立する経験にもつながる (solberg 1990) 」

「子どもはなければ求めるし、自分で作りもする。いやなら主張するし、自分で解決しよう

ともする。子どものちからを信じよう。見守ろう。支えよう (東京大学 遠藤利彦教授) 」

【このような環境の実現をめざします】

- ・ 子どもたちの「やりたい」ができる環境
- ・ 子どもたちの「やりたい」を引き出せる環境
- ・ いろんな世代・考え・想いの大人たちが見守る、受け入れることができる環境

【そのためにこのような活動を続けていきます】

- ・ プレーパークの実施
- ・ 出張プレーパークの実施
- ・ 道遊び、遠足、おしゃべり会のサポート
- ・ 講演会やセミナーの企画運営